



養父市 病児保育センター ほわほわ だより



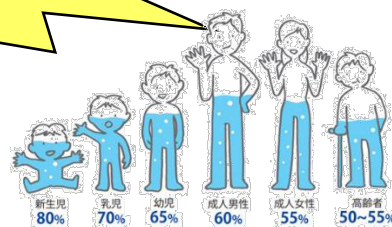
「日中は30度を超える暑さになります。」なんて、ニュースで聞かれるようになってきました。マスクで感染対策も大切ですが、熱中症にも気をつけていきましょう。人との距離がとれる時（約2m以上）はマスクを外しましょう。



熱中症に気をつけて！！

身体が暑さに慣れてい

- ・子どもは大人に比べて熱中症になりやすい。



子どもは汗っかき！と言われますが、

実は乳幼児は体温調節機能が未熟なため、うまく汗をかくことができません。そのためからだに熱がこもりやすく、体温が上昇しやすくなります。また乳幼児はからだの約70%が水分です。全身に占めるからだの水分の割合が大人より多く、体重に比べて体表面積が広い分、外の気温の影響を受けやすくなっています。

- ・地面に近く、熱を吸収。

乳幼児は身長も低いため、温められた地面からの照り返しによって、大人よりも高い気温の中過ごしています。通常気温は150cmの高さで測定されています。気温が32℃の場合、子どもの高さではさらに気温は上がり35℃にもなっていると言われてしています。



参考：[Kids | くらスタイル研究所](https://kids.kurashistyle.com/)

osoujihonpo.com

病児保育センターでは、安全にお子様をお預かりし看護師巡回のもと体調に応じた保育を行っています。気軽にお問い合わせください。



☆Facebook・Instagram はじめました☆



“養父市病児保育センターほわほわ”で検索

問い合わせ
病児保育 ほわほわ
☎079-666-8307